

報道関係者各位

2023年4月11日  
株式会社日本レースプロモーション  
KCJ GROUP 株式会社

【ご紹介のお願い：イベントレポート】

## 国内最高峰のフォーミュラレース SUPER FORMULA 開幕戦 こども達がモータースポーツに関わる職業を体験！ 最終戦まで各サーキット会場で実施

イベント名：Out of KidZania in SUPER FORMULA  
開催日時：2023年4月8日（土） 場所：富士スピードウェイ



レースディレクターの仕事体験することも



記者会見でのフォトセッション  
(左から：JRP 上野禎久社長、KCJ GROUP 圓谷道成社長、JRP 近藤真彦 次期会長)

4月8日（土）、富士スピードウェイにて開幕した2023年シーズンの全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下「SUPER FORMULA」）にて、モータースポーツに関わる仕事体験を提供するイベント「Out of KidZania in SUPER FORMULA」が開催されました。こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」監修のもと、レースディレクター、場内アナウンサー、グリッドボードホルダーなどの体験ができるという内容。コース、パドックなど普段入ることのできないエリアにも立ち入ることができ、こども達は、実際にレースに参加するドライバー、スタッフ、マシンを間近に臨場感溢れるサーキットの現場で仕事体験をしました。

また、当日行われた記者会見では、キッズニアを企画・運営するKCJ GROUPの圓谷社長も登壇。「SUPER FORMULAに新たな風を吹き込めたのではないかと思います。レースがいかに多くの人々の支えによって運営されているかをこども達に体験してほしい」と述べ、日本レースプロモーション（JRP）の近藤真彦次期会長は「キッズニアでは消防士やパイロットなどの職業体験ができるが、そこにレーサーやメカニックも加わってほしい。SUPER FORMULAも今後、人材育成としてジュニアカテゴリーを増やして小学生・中学生もとりこんでいきたい」と、モータースポーツ界を盛り上げるための熱い想いを語りました。

「Out of KidZania in SUPER FORMULA」は、開幕戦を皮切りに、以降の全ての大会において、サーキットの特性に合わせたコンテンツを展開予定。（詳細情報は順次SUPER FORMULA公式WEBサイトで公開予定）

<https://superformula.net/sf3/outofkidzania/>

## ■ SUPER FORMULA (日本レースプロモーション) の想い

モータースポーツはチーム、サーキット、サプライヤー、メディアなど、沢山のステークホルダーの力を結集したスポーツエンターテインメントです。その主役であるレーシングドライバー以外にも、そこには多岐にわたる役割や職業があり、その一つ一つの仕事に数多くのドラマがあります。今回の「Out of KidZania in SUPER FORMULA」は、こども達にそれらの職業を体験してもらうことで、業界に従事する沢山の「縁の下の力持ち」たちの活躍を知っていただき、様々な視点でモータースポーツの世界で働くことに興味を抱いていただくことが目的です。

## ■ キッザニア (KCJ GROUP) の想い

キッザニアが、社会に対して果たすべき役割は、こども達の生きる力を育むこと。今回、日本レースプロモーションさまの思いに共感し、今回の取り組みに協力させていただくことになりました。こども達にモータースポーツの世界を通して、社会の仕組みを学ぶ機会を提供できることをうれしく思います。

## ■ こども達のコメント



**【レースディレクター】サーキットの心臓でもある「管制室」でレース全体の状況把握をする大切な仕事！**  
「レースディレクター」という仕事があることを初めて知った。モニターを監視しながら、電光掲示板の表示を操作したり、無線を使ってコースの人とやりとりしたり、大変な仕事だと思った」(小学生男子)

**【コースオフィシャル】各マシンが走行後のコースを清掃！**  
「清掃はドライバーたちの安全を守る大切な仕事だとわかった。遠くから見ているときはそこまで広く感じなかったが、実際にコースに入るとすごく広くて驚いた」(小学生男子)

**【モータースポーツジャーナリスト】予選終了後の会見でこども達からの質問に選手たちもたじたじ！**  
(野尻智紀選手、宮田莉朋選手、リアム・ローソン選手が登場した開幕戦の予選後会見での一幕)  
「レースへのこだわりはなんですか？」というこどもジャーナリストからの直球な質問には、ドライバーたちがたじたじになる場面も。普段の会見では見られない雰囲気を作り出し、会場を和ませた。  
「ドライバーへの取材体験はとても楽しかった。また、レースの魅力を伝えるために、事前の準備をたくさんしていることを知ることができた。将来やってみたい」(小学生男子)

**【グリッドボードホルダー】22台のマシンにスタート位置を伝える大切な役割**  
「初めての経験で緊張したけど楽しかった。目印になるように頑張った。いつも遠くから見ているフォーミュラのマシンが目の前にあってドキドキした」(小学生男子)

**【エンジンスターターコーラー】開幕戦決勝のエンジンスターターコールを体験！**  
レースが始まる合図でもあるエンジンスターターコール。こども達の掛け声でエンジンが一斉に鳴り響いた！  
「いつもは“見ている側”だが、“みられる側”になることで普段と違った視点からレースを感じることができた」(中学生女子)

■富士スピードウェイで実施したコンテンツ 全7職種 ※体験できる職種や内容は大会毎に異なります。

職種	体験内容
グリッドボードホルダー	スタート進行時、チームのメカやレースクイーンと一緒に入場し、グリッドボードを持つ仕事。
エンジンスタートコーラー	決勝レース時に『Start your engine』の掛け声で22台一斉のエンジンスタートを指揮する仕事。
サーキット場内アナウンサー	サーキットの放送室にて、場内の催し事やイベントスケジュールなどを実況・発信する仕事。
モータースポーツジャーナリスト	予選と決勝レース後の記者会見で、ドライバーへ取材して記事作成、魅力を発信する仕事。
コースオフィシャル	レースセッションのインターバルに、コース上に落ちたタイヤカスやデブリ（破損部品）を清掃・回収したり、コースを点検したりする仕事。
レースディレクター	コントロールセンター内の管制室からコースオフィシャルとの無線通信や競技の判定などをおこなう仕事。
チームマネージャー	ピットウォーク中に、ドライバーのファンサービスやファンとの交流のためにサポートをする仕事。

■開催日程・開催場所

Round	日程	開催地
第1戦	4月8日(土)	富士スピードウェイ (静岡県駿東郡小山町中日向 694)
第2戦	4月9日(日)	
第3戦	4月22日(土)・23日(日)	鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市稲生町 7992)
第4戦	5月20日(土)・21日(日)	九州大会 in オートポリス (大分県日田市上津江町上野田 1112-8)
第5戦	6月17日(土)・18日(日)	東北大会 in スポーツランド SUGO (宮城県柴田郡村田町菅生 6-1)
第6戦	7月15日(土)・16日(日)	富士スピードウェイ (静岡県駿東郡小山町中日向 694)
第7戦	8月19日(土)・20日(日)	モビリティリゾートもてぎ (栃木県芳賀郡茂木町松山 120-1)
第8戦	10月28日(土)・29日(日)	鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市稲生町 7992)
第9戦	10月29日(日)	

### ■ KCJ GROUP／キッズニア について

KCJ GROUP は、3 歳から 15 歳までの子ども達の職業・社会体験施設「キッズニア」の企画・運営をしています。「キッズニア」は、現実社会の約 2/3 サイズの街並みに、実在する企業が出展するパビリオンが建ち並び、さまざまな仕事やサービスを体験できます。キッズニアのコンセプトは、「エデュケーション（学び）」と「エンターテインメント（楽しさ）」を合わせた『エデュテインメント』。子ども達が好きな仕事にチャレンジし、楽しみながら社会のしくみを学ぶことができる「子どもが主役の街」です。

<https://www.kidzania.jp/>

### ■ Out of KidZania (アウト オブ キッズニア) について

「Out of KidZania」は、子ども達がキッズニアの中で通常体験している仕事からさらに一步踏み込んで、実社会の仕事を体験したり、そこで働く人たちのインタビューを行ったりするプログラムです。これまでもその地域ならではの職業や、漁業・林業体験など、多くの子ども達がさまざまな仕事を体験しています。このような体験を通して、子ども達が“働くこと”についてさまざまな発見をし、好奇心・探求心を湧き立たせ、実社会でも社会を楽しく学ぶことにより、子ども達の世界がより一層広がることを目指しています。

<https://www.kidzania.jp/outof/>